

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~6日	11月 ~13日	11月 ~20日	11月 ~27日	12月 ~4日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	14	32	22	9	10
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	9	21	16	9	19
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	1	0	3	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	2	6	7	3	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	5	7	2	5 (6)	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	0	0	0	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	1	0	0	1	2
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* その他の1件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第48週(11月28日~12月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			3		1		
三類	0	発生なし	0							
四類	6	つつが虫病	3	1				2		
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	2				1		1	
五類	11	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1				1			
		梅毒	9			2		3	2	2
新型インフルエンザ 等感染症	20,124	新型コロナウイルス感染症	20,124	2,263	1,617	2,002	898	8,686	1,135	3,523

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

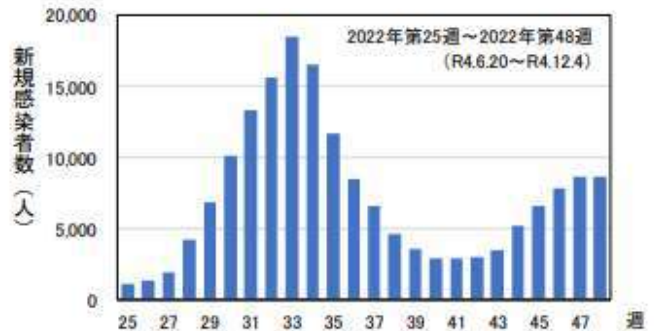
1 新型コロナウイルス感染症

第48週に8,686件の報告がありました。新規感染者数は前週から横ばいですが、年末に向けて人と人との接触機会が増えたり、寒さで換気が不十分になるなど、感染者増加の要因が重なるため注意が必要です。

また、広島県は確保病床数を、通常医療を一部制限する「緊急フェーズ1」(776床)に引き上げました。マスク着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】新型コロナウイルス感染症における 県対処方針の改正等について【令和4年12月2日会見】(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20221202.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



2 感染性胃腸炎

定点当たり4.90人の報告があり、増加傾向で推移しています。

3 つつが虫病

2件の報告があり、今年の累計は10件となりました。つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に吸着されることで感染します。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用し、ダニ類の付着を防ぎましょう。また、ツツガムシの幼虫は0.2～0.3mmと小さく見えづらいため、帰宅後はすぐに入浴して身体をよく洗い、衣服も洗濯しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	2.24		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.10	0.03	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.43	0.42		小児科	RSウイルス感染症	3	0.14	0.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.29	2.05		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	103	4.90	5.40	⇒	眼科	流行性角結膜炎	-	-	0.45	
	水痘	2	0.10	0.29		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.10	1.14			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.18			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	突発性発しん	3	0.14	0.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
		ヘルパンギーナ	3	0.14	0.27		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	118	70歳代
4	つつが虫病	2	10	70歳代、70歳代・市外
4	レジオネラ症	1	30	60歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	60歳代
5	梅毒	3	295	30歳代・3人